

かざ

ぐるま

風車

紀州の歴史と文化の風

文化財センター季刊情報誌【かざぐるま】

2023 冬号

103

公益財団法人 和歌山県文化財センター

特集

和田岩坪遺跡第2次発掘調査

和田岩坪遺跡木製品等出土状況（北から）

特集 和田岩坪遺跡第2次発掘調査

はじめに

和田岩坪遺跡は、和歌山市和田に所在する遺跡で、縄文海進時には湾であったと推測される和田盆地の西側縁辺部にあたり、和田盆地を西流する和田川と北流する名草川の合流



和田岩坪遺跡 位置図

点付近に位置します。現在、当遺跡の北西側には和歌山平野が広がっています。また、調査地の南側0.5kmには竈山神社が鎮座していますが、境内には神武天皇の兄である彦五瀬命の墓とされる竈山神社古墳が所在し、調査地西側の丘陵地にも和田古墳群が所在しています。今回の調査地は、平成30年度の第1次調査で弥生時代後期～古墳時代前期の自然流路を検出した調査区の西側隣接地にあたります。調査は1～3区に分けて令和4年7月～令和5年9月に実施しました。

調査成果

第1次調査で検出した幅18m前後の自然流路の続きを調査しました。この自然流路は南北方向に流れており、名草川の旧流路と考えられます。調査では、自然流路の西側の肩部



調査区遠景（南から）

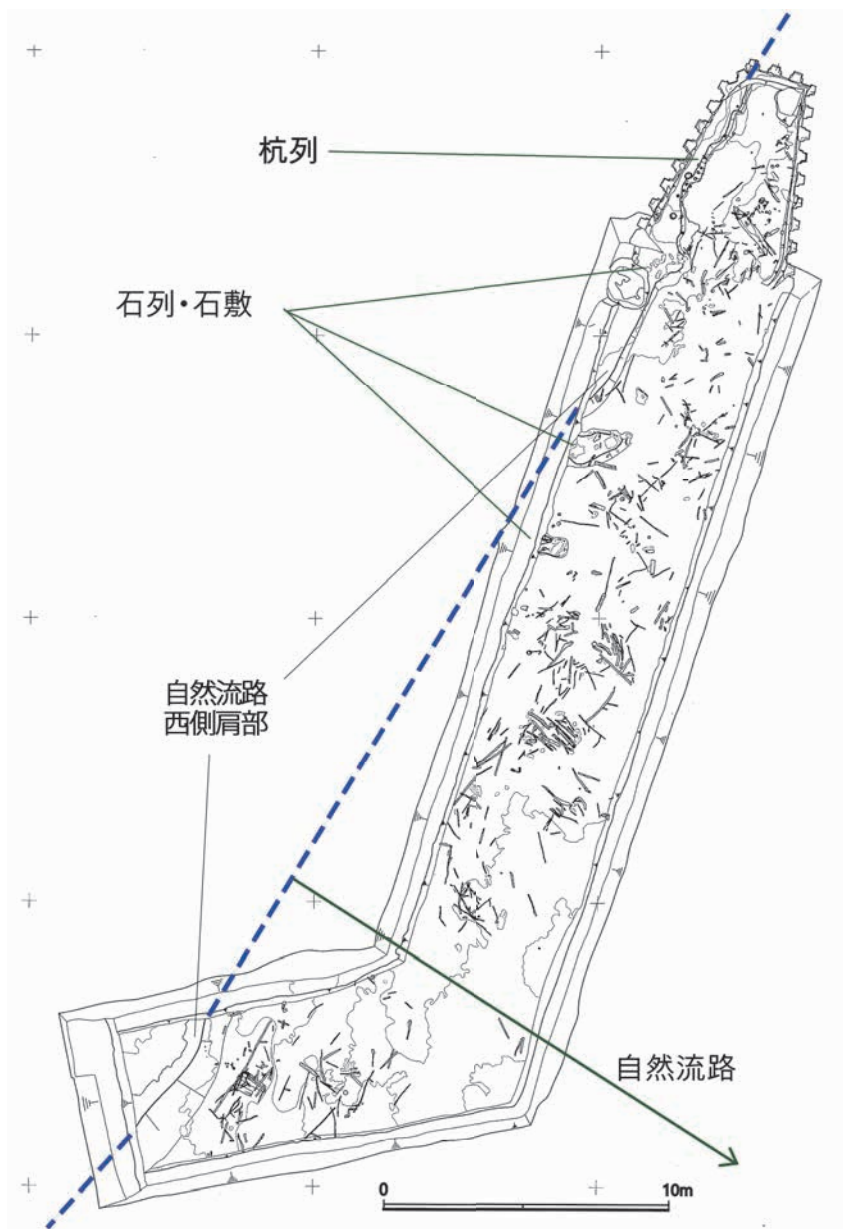
を検出し、護岸施設と推測される石列・石敷遺構や杭列を確認しました。この自然流路の埋土下層から多量の弥生時代後期～古墳時代前期の土器や木質遺物（木製品・自然木）が出土し、周辺に同時期の大きな集落があったと思われるが、今回の調査区内では住居などの集落に関連する遺構は確認できませんでした。自然流路の埋土最上層から初期須恵器

が出土することから、最終的に古墳時代中期に埋積したと考えられます。自然流路の最終埋積土より上層では中世の耕作関連の鋤溝などを確認したことから、自然流路埋積後、中世になってようやく耕作地として利用できるようになったと考えられます。

出土遺物

自然流路の埋土から多量の弥生時代後期～古墳時代前期の遺物が出土しました。以下、特徴的な遺物を紹介します。

【土錘】 漁に使用する網に付ける土製の錘が多量に出土しました。漁撈を生業としていたことが推測されます。



調査区平面図（1区・2区）



土層断面（1区）

【マダコ壺】 マダコ漁に使用するタコ壺が3点出土しました。そのうち1点は底部に穿孔が施されています。大阪湾沿岸の遺跡ではマダコ壺・イイダコ壺は多く出土していますが、和歌山県内ではタコ壺は10点に満たない出土しかなく、貴重な発見です。

【製塩土器】 土器を用いて塩作りする時に2次に焼成された製塩土器が多量に出土しました。製塩は海水を利用するため、多くは海岸線沿いの集落で出土します。現在は海岸線

まで3 km以上離れた立地ですが、当時は入江となっており海岸線が近かったことが推測されます。

【鳥形土器】県内では鳥形土器は約5点出土していますが、いずれも流路などから出土するため水に関わる祭祀さいしに使用されたと推測されています。

【ミニチュア土器】手づくねの小形土器が複数出土しています。どのように使用されたか判明していませんが、祭祀に使われた可能性があります。

【滑石製有孔円板かっせいせいゆうこうえんばん】祭祀に使用されたと考えられる有孔円板が1点出土しました。当調査地から南側約0.5 kmに位置する竈山神社隣接地



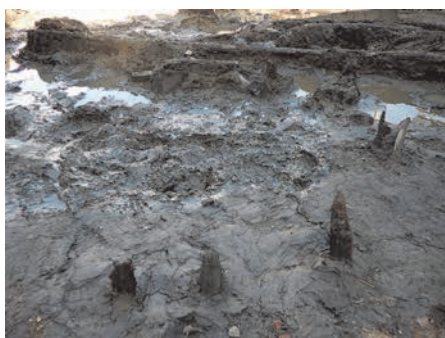
石列 検出状況



石敷 検出状況



流路肩部・杭列 検出状況



杭 検出状況



杭 断ち割り状況

の坂田遺跡では琴柱形石製品・勾玉まがたま・有孔円板が出土しており、関連性がうかがえます。

【石杵いしぎね】先端に朱あるいは赤色顔料が付着した丸石状の石杵が1点出土しました。遺跡内で朱あるいは赤色顔料の素材をすりつぶしていたと考えられます。

【木製品もくせい】広鋏ひろくわや又鋏またくわ、鎌の柄などの農具の他、木錘もくすい、板材、有頭棒ゆうちうぼうなどの加工された木製品が出土しています。また、杭も多く出土しており、一部は自然流路肩部に打ち込まれた状態で検出されました。

【ひも状の樹皮じゆひ（素材）】ひも状または皮状の樹皮を束ねたり巻いたりしたものが複数出土しました。当時は細くした樹皮をひものよう

に使用していましたが、出土したものは使用前の状態であると考えられます。

【植物のタネ】松ぼっくりやドンダリなどの木の実も多量に出土していますが、特にモモのタネが200点以上出土していることが特徴的です。古代においてモモは祭祀に用いられたこともあったと推測されており、食用であったか、祭祀用であったかは今後の検討が必要です。

【昆虫こんちゆう】昆虫の前胸背板ぜんきゆうはいばんが2個体分出土しました。発掘調査で昆虫の破片が出土することは非常に珍しいことです。

まとめ

今回の和田岩坪遺跡の調査地は、最終埋積が古墳時代中期となる自然流路の範囲にあり、弥生時代後期末～古墳時代前期の土器を多量に含むことから、隣接地で当該期の大規模な集落があったことが想定されます。この集落では、土錘やマダコ壺、製塩土器などの漁撈・製塩関連遺物が出土し、海浜部近くに位置する集落としての生業の実態が推定できます。しかし、木製品に農具が含まれること

から農業にも従事していたと考えられます。

また、水辺の祭祀に関わる可能性がある鳥形土器や滑石製有孔円板などの祭祀遺物も出土しています。自然流路は南から北に流れており、現在の名草川の流向と同じであることから、名草川の旧流路であると考えられます。名草川上流側には式内社である竈山神社があり、竈山神社に隣接して琴柱形石製品が出土した坂田遺跡が所在するなど祭祀的な側面から当遺跡を検討する必要があります。

(仲原 知之)



土錘



鳥形土器出土状況



製塩土器



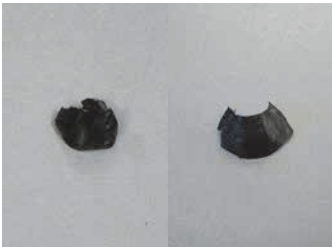
マダコ壺出土状況



樹皮 (素材)



広鋤出土状況



昆虫 (前胸背板)



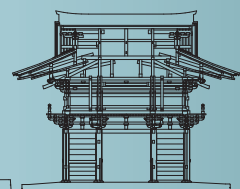
モモのタネ

和歌山県立自然博物館 松野茂富学芸員
(昆虫担当)のコメント

今回発見されたのは、コウチュウ目 Coleoptera コガネムシ科 Scarabaeidae スジコガネ属 *Anomala* の1種と考えられます。保存部位は前胸の背面であり、2匹分。その形態や大きさ、色彩より現生種のアオドウガネ類がもつとも近いと考えられます。アオドウガネ類の成虫の体長は25mmほど。成虫は和歌山では6月から8月にかけて見られ、夜間に活動し、様々な植物の葉を食べます。なお、現在の和歌山にはアオドウガネ類は2種(アオドウガネとヤマトアオドウガネ)が分布していますが、今回の保存部位だけでは仮に現生種だとしてもどちらの種か判りませんでした。しかしながら、ヤマトアオドウガネは沿岸部に分布する傾向が強く、発見場所が海に近いので、もしかしたらヤマトアオドウガネかも!?



ヤマトアオドウガネ標本
(県立自然博物館蔵)



重要文化財

増田家住宅表門の保存修理

江戸時代の大庄屋の屋敷構えを今に伝える増田家住宅は、主屋・宝永三年（1706）と表門・正徳二年（1712）が昭和四四年に重要文化財に指定されています。

その後昭和六一年に解体修理が行われ、表門は中古に減築されていた部分を復原するなど、建立当初の姿に整えられました。重厚な門扉の両脇に精緻なナマコ壁が施された表門の間口幅は30メートルにも及び、手前に広がる美しい水田とのコントラストが印象的な建物です。



増田家住宅表門（岩出市曾屋） 竣工

今回は令和三・四年度の国庫補助事業として、ナマコ壁を中心とした修理を行



伝統的な技術で仕上げる左官工事



野地面に沿わせた耐震補強材

いました。ナマコ壁の漆喰を一旦解体した結果、土壁に釘止めされたタイル状の瓦同士の隙間が小さく、漆喰が奥まで十分に充填されていないかった箇所が認められたほか、止め釘が効いておらず瓦が不安定になっている部分が見え、これらが漆喰の剥落の原因であると判断しました。このため適切な間隔となるよう瓦位置を調整し、止め金具を補足して固定しました。

左官職人が手間を惜しまずに伝統的な工法で施工した結果、江戸時代の人も観ていただろう格式高い姿を、令和の時代に再現することが出来ました。

さらに里道に面していることから、通学などで利用する地元の子供たちの安全確保も考慮して、耐震診断を行いました。構造的にも強固な印象の表門ですが、正面と背面の間が十分に繋がっていないほか、屋根が竹野地であることに起因して、強度は十分ではなく大地震で倒壊する恐れがある、との診断結果が出ました。このためナマコ壁の工事に併せて耐震補強工事を実施することとなりました。

補強方法としては、構造担当者から各室内に耐震壁を増設する案が提示されました。しかし各室本来の空間性を損なうことが最小限となるように配慮して、野地面に沿わせて鉄骨の補強材を取り付ける方式を選択しました。これにより紀州藩の役人用の厩や門番の控え室など、全ての部屋に与えられた固有の歴史的価値を残すことができました。

（多井 忠嗣）

和歌山県内の建物で、最も古い建立年代が確認できるのが、高野山の国宝・金剛三昧院多宝塔です。鎌倉時代の初め、貞応二年(1223)に建てられた瀟洒な塔は、正方形の初層に円形平面の上層が載せられたとても個性的な姿をしています。多宝塔とは、弘法大師空海が建立を計画した毘盧遮那法界体性塔の形式に準じた建物と言われ、本来は初層内陣が12本の入側柱で円形に間仕切られる根来寺大塔と同様の建物であったと考えられています。



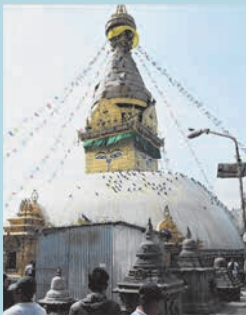
金剛三昧院多宝塔

想像をたくましくして、初層の正方形の屋根や外壁が薬師寺の東塔などにも付されている裳階であると考えれば、多宝塔は古代インドのストゥーパのような伏鉢もこしの上を上層が載せられた建物と捉えることが出来るかもしれません。屋根の上の相輪さうりん、そして上層自体もストゥーパの一部が日本にたどり着くまでに変化していった姿なのかもしれません。

そう思わせる建物が遙かヒマラヤの国で見いだせます。ネパール最古の仏教寺院スワンプナートの仏塔は白い伏鉢が印象的ですが、印象的な知恵の目が描かれた部分の上に、相輪を思わせる意匠も見いだせます。

古代インドで偶像化が禁じられていた時代の仏教遺跡には、お釈迦様しやくさまをストゥーパの姿で表現した彫刻が残ります。毘盧遮那法界体性塔も大日如来そのものとされてきたことと重ねると、800年もの時を経た多宝塔の優美な姿を通して、空海が見据えた世界の光景が広がっていくかと思えます。

(多井 忠嗣)



スワンプナート寺院

きのくに歴史小話

～きのくにれきしこぼなし～

寺がお金や物を貸して利息を取る。『日本霊異記』を読んでみると古代の寺院ではそういったことはよく行われていたようです。中巻第三十二縁では、聖武天皇の時代に紀伊国名草郡三上村に住む薬王寺やくおうじの信者が寺の基金を人々に貸し付けて利息を増やしていたこと、またその基金を借りて返さないまま死んだ物部磨ものべのまろという人物のエピソードが書かれています。この話の中で物部磨は酒2斗とを借りて返さなかったため牛に生まれ変わって寺でこき使われており、物を借りて返さなければその報いを受けるという懲悪ちやうあくの話です。

注目したいのは、この話には多数の地名や地名にちなんだ人名が出てくるところです。「名草郡三上村」「岡田村主の姑女おぼめ」「岡田村主石人おかだのすくりいわひと」……名草郡三上村は現在の海南市北部を東西に流れる亀川の周辺と推定されます。岡田村の詳細については不明ですが、現在も海南市岡田という地名が残ることから、海南市北部の岡田周辺の可能性が考えられます。

岡田周辺には室山古墳群や山崎山古墳群などが所在しています。



且来VI遺跡で出土した古代の須恵器

また、岡田の東側に隣接する海南市且来あつそには且来V遺跡・且来VI遺跡という遺跡があり、これまでの調査で古墳時代末から奈良時代にかけての掘立柱建物群や古代の土器・瓦が数多く確認されています。これらの建物群は古代の役所(郷衙ごうが)?であった可能性があり、『日本霊異記』の舞台となった岡田村も治めていたかも……と考えるのは少し想像がたくましくありません。

(濱崎 範子)

催し物案内

和歌山県内の文化財関係イベント情報(2023年冬～2024年春)

和歌山県立紀伊風土記の丘

- 冬季企画展「紀伊半島の東と西－縄文・弥生時代の地域性－」
2024年1月20日(土)～2月25日(日)
- 古墳ガイドツアー②
2024年1月28日(日) 13:30～15:30
- 展示講座③冬季企画展
2024年2月11日(日・祝) 13:30～15:30
- 館長講座③
2024年3月2日(土) 13:30～15:00

和歌山県立博物館

- 企画展 高野山寺領の村
2023年12月16日(土)
～2024年2月12日(月・祝)
- 企画展 新収蔵品展
2024年2月23日(金・祝)～4月14日(日)

和歌山市立博物館

- 企画展 歴史を語る道具たち
2024年1月16日(火)～3月3日(日)
- 企画展 花鳥風月－和歌山市立博物館収蔵品展－
2024年3月16日(土)～5月12日(日)

高野山霊宝館

- 令和5年度秋期企画展 弘法大師空海の弟子たち
2023年10月14日(土)
～2024年1月14日(日)

※掲載内容は変更される可能性があります。詳細や講座の受講方法については各施設へお問い合わせください。

目次

- 1 表紙
- 2 特集「和田岩坪遺跡第2次発掘調査」
- 6 文化財建造物課 短信「重要文化財 増田家住宅表門の保存修理」
- 7 きのかに歴史小話「文化財建造物課 和歌山の建物とゆかりの人物(2)」
「埋蔵文化財課 『日本霊異記』と和歌山(3)」
- 8 催し物案内

風車103 (2023・冬号)

令和5年12月28日

(公財)和歌山県文化財センター

URL <http://www.wabunse.or.jp/>

(公財)和歌山県文化財センター

【事務局】〒640-8301 和歌山市岩橋1263 番地の1
TEL 073-472-3710 FAX 073-474-2270
kanri-2@wabunse.or.jp



LINE公式アカウント

ID: @942tjyhk

